

本日の
プログラム

ガバナー公式訪問

R I 第 2 5 1 0 地区ガバナー 石丸 修太郎 氏

やってみたい!を育てる企業

—男女フラットな目線で共に成長できる企業へ—

(株)井上技研 石村 美貴氏

本日は、SDGsゴール5の「ジェンダー平等を実現しよう」を中心に、弊社の取り組みについてお話をさせていただきます。

私は、北海学園大学を卒業し新卒で株式会社 井上技研に入社し、今年で入社5年目となります。現在の仕事は主に新卒採用・総務・SDGsのチームリーダーです。

弊社は設立37周年を迎えます。事業内容は札幌市・民間企業・保育園・病院・高齢者福祉施設などの、新築・改修工事を行っております。

現在までの施工実績は、札幌市円山動物園内「こども動物園」や、札幌市役所1階にある「元気カフェ」の改修工事などです。その他幼稚園や高齢者福祉施設の新築・改修工事などを施工しております。

新卒採用は2005年から現在まで17年間継続しております。初めて新卒で採用した技術者は女性でした。

最近「女性目線・女性活躍」という言葉をよく耳にしますが、弊社では2012年に中小企業診断士と連携して「女性目線」という言葉を打ち出しております。「女性活躍」として新聞で取り上げていただく機会も増えてきました。

今年8月には、全国で初めて中小企業として、2014年から技術同友会が主催している、女性技術者育成への功績をたたえる「女性技

術者育成功労賞」を受賞致しました。

長らく男性社会が続いた建設業界に、女性目線(女性の働きやすさ、職場環境)を取り入れることで、男性も女性も働きやすい職場環境になるという考えの下、「女性目線」という言葉を打ち出し、以下のことに取り組んでおります。

- 1) “人”が一番大切だと考えており、会社の理念に共感し、共に育ってほしいという思いから、社員にしっかりと研修を実施しております。
- 2) 女性が配属された現場には必ず女性専用のトイレを設置しております。
- 3) 工事担当者には社用車を貸与、社員全員にスマートフォンを支給しております。
- 4) 感染予防対策として、会社と各現場にアルコールやマスクの設置。また社内自動販売機も設置し、働きやすい環境作りに努めております。
- 5) 昨年から、ノー残業デーの実施、社内会議資料のペーパーレス化、ゴミの分別を徹底して行い、残業や資源などに対する社員の意識改革を行っております。
- 6) 会社が所在する地域の草刈りやゴミ拾い活動に積極的に取り組んでおります。
- 7) 工夫を凝らした工事シートを作成し、工事現場周辺を楽しんで通行していただけるよう取り組んでおります。

本日のまとめとして、三つお伝えさせていただきます。

一つ目は、「男女の区別はあるが、差別は一切しない」ということです。

弊社社長の言葉で「男女が一緒の部屋で着替えることは出来ない。そういった男女間の区別はあるが、給与や昇給等での差別はしない」というものです。

二つ目は、「女性が働きやすい職場環境は、男性にとっても働きやすい環境」であるということです。例えば、綺麗な職場環境やライフステージに合わせた働き方などは、女性だけでなく、男性にとっても働きやすいと感じられる会社だと思っております。

三つ目は、「見える化、言える化を進めていく」ということです。

弊社は成長過程ですが、アナログな部分が多い建設業界にICTやDXを活用することで、今後も働き方改革や、業務効率化を進めていきたいと思っております。そのために何が足りないのか、社員から意見を聞き入れ課題を一つ一つ解決していかなければなりません。

それぞれの現場の状況を「見える化」し、また社員の意見を取り組みに反映させるための「言える化」もとても重要だと考えております。

最後に、現在施工している小学校の現場は男性2名 女性3名の体制です。大変なこともありますが、それぞれの役割を理解、協力して進めている現場です。会社全体に「女性目線」が浸透してきているからこそ実現できていることだと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

